

【社会分野に関する時事問題】

日本における科学技術の研究をめぐる動向に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 大学、公的機関、企業などでの研究開発費の総額を欧米諸国や中国など他の主要国と比べると、日本は主要国中最低水準であるが、研究開発費の対前年伸び率は10%前後で推移しており、米国や中国と並ぶ高い水準となっている。
2. 大学等における産学連携を図る取組が進められているが、大学での研究成果は広く社会で活用される必要があることから、大学が、特許権を取得した発明について収入を得ることは禁止されている。
3. 女性研究者の登用や活躍支援が進められてきたことから、大学や企業などに所属する研究者に占める女性の割合は年々上昇しており、約40%となっている。
4. 新規博士号取得者数を年度ごとに見ると、日本では減少傾向にあり、またこの数を人口100万人当たりで見ると、米国や英国などに比べて少ない。
5. 研究力を測る主要な指標として、引用された回数が多い論文数がある。自然科学分野について、引用された回数が上位10%に入る論文数の国別順位を見ると、日本は米国、中国に次ぐ世界第3位となっている。

〔正 答 4〕

【自然分野に関する時事問題】

生態系に関わる問題についての次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア．外来生物の移入により，生態系のバランスが崩れたり，農林水産業に被害が生じたりすることがある。日本で問題となっている外来生物としてアライグマ，ウシガエル，ヒアリなどがある。
- イ．熱帯林は，温帯林に比べると落葉や落枝などが分解されやすく，土壤に蓄積されている有機物量が少ない。熱帯林が大規模に伐採されたのち土壤が降雨などによって流出すると，森林の回復は容易でない。
- ウ．赤潮は，海水に流入する栄養塩類の減少や海水温の低下などによって，プランクトンが大量死して海面が赤く濁って見える現象であり，プランクトンを餌とする生物の生育に悪影響を及ぼす。赤潮は日本では冬に発生しやすい。
- エ．海洋プラスチックごみが，船の航行の障害となったり，これを誤って摂食した動物の生命を脅かしたりすることが問題となっている。その対策としてマイクロプラスチックの導入が進められており，これは微生物の働きで微細化される性質をもつ。

- 1．ア，イ
- 2．ア，ウ
- 3．イ，ウ
- 4．イ，エ
- 5．ウ，エ

〔正 答 1〕

【人文】

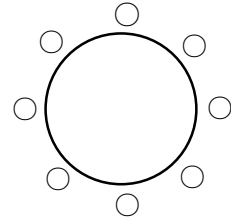
第二次世界大戦後の日米関係に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. アメリカは占領当初、日本統治に利用するために財閥を温存していたが、冷戦が本格化すると、日本を自由主義陣営にとどめるため、財閥を全面的に解体して経済民主化を推進した。
2. 日本国内では反ソ感情の高まりから、ソ連を除いた単独講和の要求が強かったが、アメリカが全面講和を強く求めたため、日本はサンフランシスコ平和条約で、ソ連を含むほとんどの交戦国と講和した。
3. 1951年に締結された日米安全保障条約では、独立後もアメリカ軍が日本に駐留することが決まった。その後、条約の改定のために交渉が行われ、1960年に締結された新安保条約では、アメリカの日本防衛義務が明文化された。
4. アメリカの施政権下に置かれた沖縄で祖国復帰運動が高まると、日米両政府は沖縄返還協定に調印した。協定には沖縄のアメリカ軍基地の全面返還が盛り込まれ、協定発効後にほとんどが返還されたが、1割ほどの基地は返還されずに残った。
5. 日本は1991年の湾岸戦争、2001年のアフガニスタン紛争、2003年のイラク戦争に際して自衛隊の派遣要請をアメリカから受けたが、いずれの要請についても派遣を見送った。

〔正 答 3〕

【判断推理】

A～C社の社員が合計8人集まり、図のような円卓を囲む席に座って懇親会を行った。次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。



- ・ 各社から少なくとも2人が参加した。
 - ・ 同じ会社の社員は隣同士でなかった。
 - ・ B社の社員の右隣は、必ずC社の社員であった。
 - ・ A社の社員同士は間に2人以上おいて座っていた。
-
1. A社の社員の1人おいて右隣は、B社の社員でなかった。
 2. B社の社員の1人おいて右隣は、B社の社員でなかった。
 3. C社の社員の1人おいて右隣は、A社の社員でなかった。
 4. B社の社員の正面は、B社の社員でなかった。
 5. C社の社員の正面は、B社の社員でなかった。

〔正 答 3〕

【数的推理】

ある人が日帰り旅行を計画し、旅行予算のうち、 $\frac{3}{4}$ を交通費とし、残りは食事代と土産代とした。しかし、旅行当日に予定していた電車に乗り遅れて一部タクシーを利用したため、交通費が予定の 1.2 倍になった。そこで土産代を予定よりも3,000円減らしたところ、旅行費用は予定の1.1倍となった。当初の旅行予算はいくらであったか。

1. 50,000円
2. 56,000円
3. 58,000円
4. 60,000円
5. 64,000 円

〔正 答 4〕